

(様式第9)

保健衛生大学病院 9号
平成21年10月2日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 藤田学
理事長 山路正

藤田保健衛生大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	233人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	520人	118人	545.9人	看護業務補助	167人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	12人	8人	13.8人	理学療法士	27人	臨床検査技師	115人
薬剤師	66人	0人	66人	作業療法士	15人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助産師	26人	0人	26人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,098人	10人	1,104.8人	臨床工学技士	26人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	14人	2人	15.3人	栄養士	9人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	2人	事務職員	222人
管理栄養士	21人	0人	21人	診療放射線技師	74人	その他の職員	62人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,104.5人	12.4人	1,116.9人
1日当たり平均外来患者数	1,888.4人	86.9人	1,975.3人
1日当たり平均調剤数	2,179剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第 10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カルウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31 燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンクス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	4人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	102人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	60人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	37人
・多発性硬化症	43人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	37人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	47人
・全身性エリテマトーデス	386人	・多系統萎縮症	20人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	28人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	78人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	5人	・原発性胆汁性肝硬変	13人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	226人	・重症急性膵炎	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	70人	・特発性大腿骨頭壊死症	41人
・結節性動脈周囲炎	48人	・混合性結合組織病	51人
・潰瘍性大腸炎	252人	・原発性免疫不全症候群	10人
・大動脈炎症候群	24人	・特発性間質性肺炎	0人
・ビュルガー病	16人	・網膜色素変性症	13人
・天疱瘡	13人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	45人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	248人	・神経線維腫症	11人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	95人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	10人
・アミロイドーシス	5人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	55人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	5人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻	剖検 CPC	12回	
	臓器別 CPC	60回	
剖検の状況	剖検症例数	62例	剖検率 6.6%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
心サルコイドーシスの病態診断と治療に関する研究	森本紳一郎	循環器内科	16,580 千円	補 委	循環器病研究委託費（厚生労働省）
亜硫酸を用いた再発M3白血病治療法の臨床研究	恵美宣彦	血液・化学療法科	700 千円	補 委	日本私立学校振興共済事業団
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)における細胞起源の同定と治療成績との関連性の検討、およびDLBCL発症におけるEB virusの関与と予後に関する研究	岡本昌隆	血液・化学療法科	400 千円	補 委	日本私立学校振興共済事業団
血小板無力症家系の遺伝子異常と異常蛋白の機能解析	丸山文夫	血液・化学療法科	400 千円	補 委	日本私立学校振興共済事業団
PCR法により残存白血病細胞の検出と造血幹細胞移植後の再発との検討	水田秀一	血液・化学療法科	400 千円	補 委	日本私立学校振興共済事業団
非ホジキンリンパ腫における血清Free light chainの臨床的意義の検討(継続)	渡辺正人	血液・化学療法科	250 千円	補 委	日本私立学校振興共済事業団
急性骨髄性白血病抗原に対する中和抗体の作製と生物学的活性の検討	山本幸也	血液・化学療法科	200 千円	補 委	日本私立学校振興共済事業団
受容体型チロシンキナーゼFLT3中和抗体作製と抗腫瘍活性の検討	山本幸也	血液・化学療法科	2,000 千円	補 委	武田科学振興財団
難知性疾患克服研究事業混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	吉田俊治	リウマチ・感染症内科	1,700 千円	補 委	厚生労働科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己免疫疾患における坑内皮細胞抗体の新規検出法の確立と対応抗原の分析	吉田俊治	リウマチ・感染症内科	700 千円	補委	藤田学園教員研究助成費
膠原病患者におけるサイトメガロウイルス(CMV)感染に関する検討	深谷修作	リウマチ・感染症内科	350 千円	補委	藤田学園教員研究助成費
リウマチ膠原病領域における新規抗真菌薬の効果及びβDグルカンによる臨床的カットオフ値の検討	加藤賢一	リウマチ・感染症内科	250 千円	補委	藤田学園教員研究助成費
IgA 腎症マーカーとしての簡便なIgA1 ヒンジ部糖鎖解析法の開発	比企能之	腎内科	3,000 千円	補委	バイオテクノロジー開発技術研究組合
透析患者における5-S-Cysteiny の皮膚色素沈着への関与	村上和隆	腎内科	100 千円	補委	愛知腎臓財団
IgA 腎症患者血清と抗合成ヒト IgA1 ヒンジペプチド抗体との結合性の検討	山本幸一郎	腎内科	300 千円	補委	愛知腎臓財団
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-DOIT3)	伊藤光泰	内分泌代謝内科	1,500 千円	補委	厚生労働科学研究費補助金省財団法人 国際協力医学研究振興財団
末梢脂肪組織由来多分化能幹細胞を用いた骨形成機構の研究	伊藤光泰	内分泌代謝内科	1,000 千円	補委	補：私学振興・共済事業団 大学院高度化推進特別経費—大学院整備重点化経費—研究科特別（学生分）
細胞内甲状腺ホルモン濃度調節と肥満	織田直久	内分泌代謝内科	1,000 千円	補委	公益信託第24回日本医学会総会記念医学振興基金
免疫性神経疾患に関する調査研究	武藤多津郎	神経内科	500 千円	補委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
スモンに関する調査研究	武藤多津郎	神経内科	1,200 千円	補 委	厚生労働省
アルツハイマー病におけるアミロイドβ蛋白受動免疫療法と抗体の作用機序の解明	朝倉邦彦	神経内科	1,300 千円	補 委	文部科学省
抗中性糖脂質抗体の神経疾患における作用の解明と診断マーカーの確立	三原貴照	神経内科	1,500 千円	補 委	文部科学省
統合失調症の病識と長期予後に関する研究	岩田仲生	精神科	1,500 千円	補 委	文部科学省
概日リズム障害と気分障害を包括的にとらえたゲノム医学的研究	北島剛司	精神科	1,100 千円	補 委	文部科学省
予防接種で予防可能疾患の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究	浅野喜造	小児科	2,000 千円	補 委	厚生労働省
初感染ならびに再活性化時 HHV-6 脳炎の病態解明	吉川哲史	小児科	1,300 千円	補 委	文部科学省
急性脳炎・脳症の病態解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	吉川哲史	小児科	1,500 千円	補 委	文部科学省
臓器移植や悪性腫瘍による免疫低下状態で発生するウイルス感染症の予防と治療に関する研究	吉川哲史	小児科	5,000 千円	補 委	厚生労働省
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	吉川哲史	小児科	1,000 千円	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
全新生児を対象とした先天性CMV感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エビデンスに基づく治療指針の基盤策定	吉川哲史	小児科	1,500千円	補委	厚生労働省
造血幹細胞移植児におけるロタウイルス抗原血症の解析	菅田 健	小児科	900千円	補委	文部科学省
治療薬としてのヒトモノクローン抗体製剤化に関する研究	浅野喜造	小児科	1,500千円	補委	厚生労働省
鶏卵アレルギーにおける卵白特異的T細胞応答ならびに制御性T細胞の解析	柘植郁哉	小児科	900千円	補委	文部省科学研究費
厚生労働省がん研究助成金	宇山一朗	上部消化管外科	1,200千円	補委	厚生労働省がん研究助成金
低位直腸がん手術における肛門温存療法	前田耕太郎	下部消化管外科	1,200千円	補委	厚生労働省がん研究助成金
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	前田耕太郎	下部消化管外科	600千円	補委	厚生労働科学研究費補助金
肺癌組織の遺伝子発現解析とそれに基づく抗体治療法の研究	服部良信	呼吸器外科	600千円	補委	藤田保健衛生大学 教員研究助成費
・気管支断端漏に対する遺伝子治療の実験的検討	須田 隆	呼吸器外科	200千円	補委	藤田保健衛生大学 教員研究助成費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
胸腔鏡下手術における安全性および教育に関する検討	北村由香	呼吸器外科	150 千円	補 委	藤田保健衛生大学 教員研究助成費
口蓋裂における CYP26B1 (レチノイン酸不活化酵素) の役割	坂井 靖夫	形成外科	700 千円	補 委	文科省科研費
Cyp26 (レチノイン酸分解酵素) の役割を中心とした皮膚発生における分子機構	坂井 靖夫	形成外科	150 千円	補 委	文科省科研費
悪性神経膠腫に対する temozolomido 化学療法の増感法開発のための基礎研究	廣瀬 雄一	脳神経外科	4,300 千円 650 千円	補 委	文部科学省特定 領域研究費 藤田学園 研究助成費
神経膠腫における分子生物学的分類の構築と、個別化治療の確立	廣瀬 雄一	脳神経外科	100 千円	補 委	文部科学省特定 領域研究費
脳動脈瘤手術における穿通枝温存の工夫	佐野 公俊	脳神経外科	700 千円	補 委	藤田学園 研究助成費
脳血管内外科及び脳動脈瘤治療に対する血管内視鏡の応用	加藤 庸子	脳神経外科	550 千円	補 委	藤田学園 研究助成費
面検出器CT心電図同期再構成による未破裂脳動脈瘤の脳動脈瘤拍動の検出	早川 基治	脳神経外科	250 千円	補 委	藤田学園 研究助成費
神経幹細胞を用いた中枢神経伝導路の再生誘導と臨床応用	井上 辰志	脳神経外科	200 千円	補 委	藤田学園 研究助成費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
転倒して大腿骨骨折を緒越した高齢者における特発性正常圧水頭症の有病率を明らかにすること	前田 晋吾	脳神経外科	150 千円	補委	藤田学園 研究助成費
脳虚血超急性期の体温と予後の関係について	小栗 大吉	脳神経外科	150 千円	補委	藤田学園 研究助成費
虚血発症の頭頸部動脈解離例における抗血栓療法の意義について	大村 眞弘	脳神経外科	150 千円	補委	藤田学園 研究助成費
重篤な皮膚有害事象の診断・治療と遺伝子マーカーに関する研究	松永佳世子	皮膚科	1300 千円	補委	厚生労働科学研究費
動物実験代替法を用いた安全性評価体制の確立と国際協調に関する研究	松永佳世子	皮膚科	500 千円	補委	厚生労働科学研究費
アトピー性皮膚炎モデルマウスを用いたストレスによる免疫調節機構に関する研究	松永佳世子	皮膚科	700 千円	補委	藤田学園教員助成費
アトピー性皮膚炎患者における掻痒に対するレーザーならびに光治療の奏効機序—疾患モデルマウスによる検討—	秋田 浩孝	皮膚科	250 千円	補委	藤田学園教員助成費
化学外科療法(Mohs 氏法)を用いた皮膚悪性腫瘍の研究	有馬 豪	皮膚科	150 千円	補委	藤田学園教員助成費
種々の皮膚疾患における心理テストと、ストレスマーカーの研究	山北 高志	皮膚科	150 千円	補委	藤田学園教員助成費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
臓器移植の社会的基盤に関する研究	星長 清隆	泌尿器科	3,000 千円	補委	厚生労働省 科学研究費
腎細胞癌特異抗体に対し単離した完全ヒト型抗体の機能解析と治療効果の研究	白木 良一	泌尿器科	1,400 万円	補委	文部科学省
腎癌組織特異抗原の解析と腫瘍特異的抗体治療法の研究	白木 良一	泌尿器科	1,400 千円	補委	文部科学省 科学研究費
心停止下高齢ドナーからの献腎移植適応に関する研究	早川 邦弘	泌尿器科	1,200 千円	補委	文部科学省 科学研究費
献腎移植におけるグラフトバイオマーカーの開発	日下 守	泌尿器科	1,700 千円	補委	文部科学省 科学研究費
脳死並びに心停止ドナーにおけるマージナルドナーの有効利用に関する研究	杉谷 篤	泌尿器科	800 千円	補委	厚生労働省 科学研究費
臓器移植の成績向上を目指した臨床データ解析を目的とした症例登録と追跡制度の確立並びにドナー及びレシピエントの安全性確保とQOL向上に関する研究	杉谷 篤	泌尿器科	300 千円	補委	厚生労働省 科学研究費
ラット膵脾合併移植における制御性T細胞を用いたドナー特異的免疫寛容の誘導	杉谷 篤	泌尿器科	1,300 千円	補委	文部科学省 科学研究費
子宮体部非類内膜腺癌におけるHER2の発現意義と分子標的治療の可能性	宇田川康博	産科・婦人科	700 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
低侵襲性腹腔鏡下手術における術後癒着防止に関する検討- 生殖機能温存手術への取り組み	廣田 穰	産科・婦人科	550 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
前置胎盤に対して安全に帝王切開術を行なうための、子宮底部横切開と各種骨盤内操作による新しい術式の評価と実践	多田 伸	産科・婦人科	300 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
経膈超音波断層像による妊娠末期頸管腺領域像の消退と Real-time PCR 法による頸管熟化に關与する mRNA 発現との関連、およびそれを用いた分娩進行と臨床的予後の予測	関谷 隆夫	産科・婦人科	250 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
原発性腹膜癌に関する萌芽的研究- 臨床的および基礎的検討-	小宮山慎一	産科・婦人科	350 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
本邦における原発性腹膜癌に関する多施設共同研究	小宮山慎一	産科・婦人科	700 千円	補委	文部科学省科学研究費
妊娠合併症に対する新規生物学的マーカーの開発における基礎検討	西澤 春紀	産科・婦人科	350 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
子宮内膜癌と卵巣癌における Cyp1b1 の発現と抗癌剤耐性に関する研究	西尾 永司	産科・婦人科	150 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
Podoplanin の機能の解析と卵巣明細胞腺癌への臨床応用への可能性	大江 収子	産科・婦人科	150 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団
子宮頸癌における ERCC1 の発現とその意義	加藤 利奈	産科・婦人科	150 千円	補委	日本私学学校振興 共済事業団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
妊娠高血圧症候群および子宮内胎児発育遅延の発症機序に関するゲノム解析	小石ブライヤ 奏子	産科・婦人科	150千円	補 委	日本私学学校振興 共済事業団
早産における経膈超音波断層像による頸管腺領域像の消失と早産マーカーに関する検討	松岡 美杉	産科・婦人科	150千円	補 委	日本私学学校振興 共済事業団
口腔保健と全身のQOLの関係に関する総合研究	才藤栄一 (分担研究者)	リハビリテーション科	1,500千円	補 委	厚生労働省科学研究費
摂食・嚥下機能向上支援とその評価に関する研究	横山通夫 (分担研究者)	リハビリテーション科	100千円	補 委	文部科学省科学研究費
対麻痺者用の「装着型歩行再建ロボットWPAL」の実用化開発	才藤栄一 (研究代表者)	リハビリテーション科	2,047千円	補 委	NEDO 技術開発機構産業技術実用化開発助成事業
アルツハイマー病早期診断のための分子イメージングに関する基礎的研究(昨年より継続)	外山 宏	放射線科	600千円	補 委	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(c))
活性化ミクログリア画像化の研究(昨年より継続)	工藤 元	放射線科	1600千円	補 委	文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))
レビー小体型認知症の早期診断法に関する研究	乾 好貴	放射線科	2800千円	補 委	文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))
脊髄モニタリング下手術における麻酔法の検討	竹田 清	麻酔・周術期管理医学	700千円	補 委	藤田学園教員研究助成
SICU入力患者における超音波検査によるリアルタイム腎動脈血流モニタリング法の研究	貝沼 関志	麻酔・周術期管理医学	650千円	補 委	藤田学園教員研究助成
全胚培養法を用いたA/J系マウスの口蓋裂発現における揮発性麻酔薬セボフルランの影響の検討	山田 守正	麻酔・周術期管理医学	300千円	補 委	藤田学園教員研究助成

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
手術侵襲と酸化ストレス反応について	大原 義隆	麻酔・周術期管理 医学	150千円	補 委	藤田学園教員研究助成

計86件

- 注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は、「補」に、委託の場合は、「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Coll Cardiol. 51(7): 773-775, 2008	Noninvasive coronary angiography with a prototype 256-row area detector computed tomography system comparison with conventional invasive coronary angiography	元山 貞子	循環器内科
血圧 15(5): 434-436, 2008	ARB と少量利尿薬の併用が血圧および血清尿酸値に与える影響	木村 央	循環器内科
Hepatology Research 38:1063-1068, 2008	Transient elastography: Applications and limitations	Yoshioka K	肝胆膵内科
Journal of Gastroenterology 43:558-564, 2008	Association of hepatitis B virus subgenotypes and basal core promoter/precore region variants with the clinical features of patients with acute hepatitis	Yoshioka K	肝胆膵内科
Haematologica 93(8):1195-1202, 2008	De novo CD5+ diffuse large B-cell lymphoma: results of a detailed clinicopathological review in 120 patients	Okamoto M	血液・化学療法科
Cancer Sci. 100(2):233-237, 2009	Clinical significance of 8q24/c-MYC translocation in diffuse large B-cell lymphoma	Okamoto M	血液・化学療法科
Ann Oncol 19(11):1941-1946, 2008	A clinicopathological study of nm23-H1 expression in classical Hodgkin's lymphoma	Okamoto M	血液・化学療法科
J Clin Oncol 26(19):3189-3195, 2008	Retrospective analysis of intravascular large B-cell lymphoma treated with rituximab-containing chemotherapy as reported by the IVL study group in Japan	Okamoto M	血液・化学療法科
Leuk Res. 32(12):1837-1841, 2008	Clinicopathologic features and treatment outcome of primary breast diffuse large B-cell lymphoma	Okamoto M	血液・化学療法科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hematol Oncol 26(3):152-158, 2008	Clinico-pathologic features and outcome of Japanese patients with peripheral T-cell lymphomas	Okamoto M	血液・化学療法科
Bioconjug Chem. 19(8):1588-1595, 2008	Effect of transferrin as a ligand of pH-sensitive fusogenic liposome-lipoplex hybrid complexes	Emi N	血液・化学療法科
Int J Hematol 88:154-158,2008	Clinical significance of minimal residual disease in patients with t(8:21) acute myeloid leukemia in Japan	Tsuzuki M	血液・化学療法科
Internal Medicine 47:1739-1741, 2008	Chronic myeloid leukemia Following chemotherapy with 5'-deoxy-5-fluorouridine for gastric cancer	Tsuzuki M	血液・化学療法科
臨床リウマチ 20:95-100,2008	膠原病性肺高血圧症	吉田 俊治	リウマチ・感染症 内科
日本臨床免疫学会 会誌 32(1):61-65,2009	強直性脊椎炎に Infliximab を使用し た 2 例 (症例報告)	西野 譲	リウマチ・感染症 内科
Nephrol Dial Transplant 23(6) : 1931-1939, 2008	Serum under-galactosylated IgA1 is increased in Japanese patients with IgA nephropathy.	Shimozato S	腎内科
Metabolism 57:268-273, 2008	The ratio of leptin to adiponectin can be used as an index of insulin resistance	織田 直久	内分泌代謝内科
Journal of Pharmacological Sciences 106:530-535, 2008	Pharmacological Topics of Bone Metabolism: Recent Advances in Pharmacological Management of Osteoporosis	鈴木 敦詞	内分泌代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
European Journal of Endocrinology 159: 81-86, 2008	Insulinoma cell calcium-sensing receptor influences insulin secretion in a case with concurrent familial hypocalciuric hypercalcemia and malignant metastatic insulinoma	織田 直久	内分泌代謝内科
Biochimica et Biophysica Acta 1780: 960-965, 2008	2,4-Diamino-6-hydroxypyrimidine(DAHP) suppresses cytokine-induced VCAM-1 expression on the cell surface of human umbilical vein endothelial cells in a BH ₄ -independent	伊藤 光泰	内分泌代謝内科
ANTI-AGING-MEDICINE 5(8): 82-86, 2008	Association of insulin resistance indexes QUICKI and HOMA-IR with the parameters of metabolic syndrome in non-diabetes Japanese male population	伊藤 光泰	内分泌代謝内科
Molecular and Cellular Neuroscience 40:365-373,2009	TrkA pathway activation induced by amyloid-beta(Abeta)	Mutoh T	神経内科
J Alzheimers Dis. 14(2):161-173, 2008	Development and characterization of a TAPIR-like mouse monoclonal antibody to amyloid-beta.	Hara H	神経内科
INTERNAL MEDICINE 48:1-20,2009	Acute Autonomic,Sensory and Motor Neuropathy: Successful Treatment with IVIg	Ueda A	神経内科
臨床神経学 49(2・3):96-99,2009	肺炎球菌性髄膜炎治療後に急性散在性脳脊髄炎様症状を呈した1例	上田真努香	神経内科
Nova Science Publishers 173-183,2008	New Research on Auto-Antibodies	Hara H	神経内科
臨床と研究 85(4): 554-557, 2008	アミロイドワクチン開発の現状	武藤多津郎	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内科学雑誌 97(8):1844-1850, 2008	【傍腫瘍性神経症候群：診断と治療の進歩】VI.最近の話題 2.抗糖脂質抗体	武藤多津郎	神経内科
Neuroscience Research 62:211-215,2008	Association analysis of nuclear receptor Rev-erb alpha gene(NR1D1) with mood disorders in the Japanese population	岸 太郎	精神科
J Neural Transm 115(10):1457-1461, 2008	Genetic association analysis of tagging SNPs in alpha4 and beta2 subunits of neuroal nicotinic acetylcholine receptor genes (CHRNA4 and CHRNB2) with schizophrenia in the Japanese	岸 太郎	精神科
American Journal of Medical Genetics Part B (Neuropsychiatric Genetics) 147B:531-534,200	No Association Between Prostate Apoptosis Response 4 Gene (PAWR) in Schizophrenia and Mood Disorders in a Japanese Population	岸 太郎	精神科
臨床精神薬理 11(1):3-9,2008	精神科薬物療法 この10年—新しい向精神薬は精神科医療をどう変えたか?—	岩田 仲生	精神科
Medical Science Digest 34(13):606-609,2008	抗精神病薬での個別化医療の可能性	岩田 仲生	精神科
MEDICO 39(8):285-287,2008	【職場におけるメンタルヘルス】職場（医療現場を含む）におけるうつ病の早期発見	内藤 宏	精神科
Liver Transplantation 14:100-109,2008	Human herpesvirus 6 infection in adult living related liver transplant recipients	Yoshikawa T	小児科
Journal of Clinical Microbiology 46(8):2700-2706	Multicenter comparison of PCR assays for detection of human herpesvirus 6 DNA in serum	Yoshikawa T	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Infection 57:241-248,2008	Elevated serum cytokine levels are associated with human herpesvirus 6 reactivation in hematopoietic stem cell transplantation recipients	Sugata K	小児科
Journal of Clinical Microbiology 46(8):2665-2670,2008	Discriminating between varicella-zoster virus vaccine and wild-type strains by loop-mediated isothermal amplification	Asano Y	小児科
Journal of Virological Methods 154:223-225,2008	Loop-mediated isothermal amplification for discriminating between human herpesvirus 6 A and B.	Sugata K	小児科
J Mol Med 86:1171-1181,2008	Molecular and clinical findings and their correlations in Silver-Russel syndrome: implications for a positive role of IGF2 in growth determination and differential imprinting regulation of the IGF2-H19 domain in bodies and placentas	Yamazaki T	小児科
J Infect Dis 198:1327-1333,2008	Measurement of varicella-zoster virus (VZV)-specific cell-mediated immunity: comparison between VZV-skin test and interferon- γ Enzyme Linked immunospot assay	Asano Y	小児科
日本小児外科学会雑誌 44(2): 118-122, 2008	小児生体肝移植における血小板減少と ADAMTS-13 活性変動の意義	日比 将人	小児外科
Pediatric Hematology and Oncology 25: 73-78, 2008	1,25-Dihydroxyvitamin D-mediated Hypercalcemia in Ovarian Dysgerminoma	Hibi M	小児外科
現代医学 56(1):33-42, 2008	小児外科診療における進歩	橋本 俊	小児外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児外科学会 雑誌 44(7):952-957, 2008	小児生体肝移植後の cytomegalovirus, Epstein-Barr virus, human herpesvirus6 の実態 に関する検討	加藤 充純	小児外科
日本小児がん学会 雑誌 46(1):17-20, 2009	動脈塞栓術とブレオマイシン局注の 併用が著効した Kasabach-Merritt 症候群の一例	日比 将人	小児外科
Hepatogastroente rology 55(81):188-190,20 08	Preoperative CT during angiography of the liver for colorectal liver metastases	Morise Z	肝脾外科
PNAS 105(20):7287-7292 ,2008	Comprehensive screening for antigens overexpressed on carcinomas via isolation of human mAbs that may be therapeutic	Sugioka A	肝脾外科
J Hepatobiliary Pancreat Surgery 15(5):545-548,200 8	Patient with advanced intrahepatic cholangiocarcinoma with long-term survival successfully treated with a combination of surgery and chemotherapy	Morise Z	肝脾外科
Biochemical and Biophysical Reseach Communicatuins 832-835,2008	Isolation of antigen/antibody complexes through organic solvent (ICOS) method	Sugioka A	肝脾外科
Canadian Journal Surgery 52(1):E5-7,2009	Stepwise carcinogenesis of hepatocellular carcinoma in a nodule surrounded by hyperplastic and hypervascular liver tissue	Morise Z	肝脾外科
J Hepatobiliary Pancreat Surgery 16(4):566-570,200 9	Hepatocellular carcinoma with extensive peliotic change	Hoshimoto S	肝脾外科
Cell Transplantation 17(1-2):165-171, 2 008	Immortalized hepatocytes using human artificial chromosome	Ito M	胆膵外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hepatobiliary Pancreatic Surg 15:322-326,2008	Multislice CT study of pancreatic head arterial dominance	Horiguchi A	胆膵外科
J Hepatobiliary Pancreatic Surg 15:334-337,2008	Pneumatosis intestinalis and hepatic portal venous gas	Ito M	胆膵外科
Journal of Hepatobiliary Pancreatic Surgery 15:2-6,2008	Purpose, use, and preparation of clinical practice guidelines for the management of biliary tract and ampullary carcinomas	Miyakawa S	胆膵外科
Journal of Hepatobiliary Pancreatic Surgery 15:7-14,2008	Flowcharts for the management of biliary tract and ampullary carcinomas	Miyakawa S	胆膵外科
Journal of Hepatobiliary Pancreatic Surgery 15:15-24,2008	Risk factors for biliary tract and ampullary carcinomas and prophylactic surgery for these factors	Miyakawa S	胆膵外科
Annals of Surgical Oncology 15(8): 2301-2309,2008	Effects of combined administration of DPD-inhibitory oral fluoropyrimidine, S-1, plus paclitaxel on gene expressions of fluoropyrimidine metabolism-related enzymes in	Sakurai Y	消化器外科 (上部消化管外科)
Anticancer Reserch 28: 1593-1602,2008	Changes of gene expression of thymidine phosphorylase, thymidylate synthase, dihydropyrimidine dehydrogenase after the administration of 5'-deoxy-5-fluorouridine, paclitaxel and its combination in human gastric cancer xenografts	Sakurai Y	消化器外科 (上部消化管外科)
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 18(6): 604-607,2008	Percutaneous endoscopic gastrostomy for gastric decompression after repeated intestinal obstruction after open abdominal surgery	Sakurai Y	消化器外科 (上部消化管外科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol 14(43): 6753-6756, 2008	Pneumatosis cystoides intestinalis associated with massive free air mimicking perforated diffuse peritonitis.	Sakurai Y	消化器外科 (上部消化管外科)
Nutrition 25: 479-481,2009	Delayed vascular injury and severe respiratory distress as a rare complication of a central venous catheter and total parenteral nutrition.	Inaba K	消化器外科 (上部消化管外科)
日本内視鏡外科学会雑誌 13(2):149, 2008	腹腔鏡下リンパ節郭清の精度向上と安全性の高い再建法	宇山 一郎	消化器外科 (上部消化管外科)
癌と化学療法 35(7):1147-1155, 2008	S-1/Cisplatin 投与胃癌症例における Orotate Phosphoribosyltransferase (OPRT) 値の予後予測因子としての意義	櫻井 洋一	消化器外科 (上部消化管外科)
外科と代謝 42(6号):83-93, 2008	重症病態下における anabolic hormone の投与とエネルギー基質代謝	櫻井 洋一	消化器外科 (上部消化管外科)
日本臨床外科学会雑誌 70(2):565-569, 2009	腹腔鏡下手術にて診断・治療した子宮広間膜裂孔ヘルニアの1例	吉村 文博	消化器外科 (上部消化管外科)
外科治療, 100 巻増刊:453-459, 2009	【マスターしておきたい標準的内視鏡外科手術】内視鏡外科手術におけるデバイスの進歩	金谷誠一郎	消化器外科 (上部消化管外科)
臨床外科 64(3):289-293, 2009	エキスパート愛用の手術器具, 手術材料 超音波凝固切開装置 SonoSurg X	金谷誠一郎	消化器外科 (上部消化管外科)
日本臨床 66 巻増刊 5 胃癌 518-522, 2008	【胃癌 基礎・臨床研究のアップデート】予後予測因子の研究 化学療法の効果予測・予後予測 効果予測・予後予測 OPRT, TS, p53 の発現と化学療法の効果予測	櫻井 洋一	消化器外科 (上部消化管外科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児外科 40(8):867-871, 2008	【NST病態栄養シリーズ Immunonutrition】術後合併症による重症病態患者に対する経腸栄養投与の効果	櫻井 洋一	消化器外科 (上部消化管外科)
日本消化器病学会 雑誌 105(7):1012-1016, 2008	【消化管癌に対する内視鏡治療と鏡視下手術の適応 上部消化管】早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除の適応	宇山 一朗	消化器外科 (上部消化管外科)
手術 62(8):1095-1099 2008	手術手技 開腹下胃全摘術におけるリニアステイプラーを用いた食道空腸吻合法	宇山 一朗	消化器外科 (上部消化管外科)
消化器外科 Nursing 13(6):552-557, 2008	【みてわかる消化器外科主要手術12と必須看護リストアップ】みてわかる腹腔鏡下幽門側胃切除術(LADG)	石田 善敬	消化器外科 (上部消化管外科)
日本内視鏡外科学 会雑誌 13(2):191-195, 2008	【腹腔鏡下胃癌手術における工夫】腹腔鏡下食道消化管吻合術の実際	谷口 桂三	消化器外科 (上部消化管外科)
消化器外科 31(5):775-783, 2008	【胃癌のすべて】胃癌の治療 胃癌に対する手術 腹腔鏡下胃全摘術	宇山 一朗	消化器外科 (上部消化管外科)
日本医事新報 4380:92-93, 2008	噴門・幽門の開閉制御のメカニズム(Q&A)	宇山 一朗	消化器外科 (上部消化管外科)
外科と代謝 42(4):19-23, 2008	外科侵襲・各病態におけるエネルギー・基質代謝の変化と栄養管理に関する up-to-date	櫻井 洋一	消化器外科 (上部消化管外科)
日本大腸肛門病 会誌 61:396-403, 2008	術前血清 CEA 値別にみた大腸癌術後再発に関する検討	佐藤 美信	下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 35(12):2018-2020, 2008	他臓器浸潤した直腸癌に対して化学 放射線療法を施行した7例の検討	佐藤 美信	下部消化管外科
臨床外科 64(3):325-329,200 9	Intersphincteric resection(ISR)手 術の成績	前田耕太郎	下部消化管外科
日本外科系連合会 誌 34(1):1-8,2009	40歳未満で発症した若年者大腸癌 の臨床病理学的検討	佐藤 美信	下部消化管外科
Techniques in Coloproctology 12 Sep :263-265,2008	An unusual late complication of rectopexy	Katsuno.H	下部消化管外科
Acta Gastro-Enterologi ca Belgica 71: 321-324,2008 (July-September)	Poorly differentiated adenocarcinoma in the ascending colon with peritoneal dissemination : case report of a patient who survived more than eleven years	Sato H.	下部消化管外科
Annals of Surgical Oncology 15(11):3083-3091 ,2008	Does the Presence of Circulating Tumor Cells in the Venous Drainage of Curative Colorectal Cancer Resections Determine Prognosis? A Meta-Analysis	Katsuno.H	下部消化管外科
第94回日本消化器 病学会総会 2008 5月	多臓器癌を同時性、異時性に合併し た大腸癌の臨床的検討	佐藤 美信	下部消化管外科
第108回日本外科 学会定期学術集会 2008 5月 長崎 市	当院におけるクローン病腸管病変再 手術症例の検討	花井 恒一	下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第108回日本外科学会定期学術集会 2008 5月 長崎市	下部直腸癌に対する側方リンパ節郭清の治療効果	佐藤 美信	下部消化管外科
第108回日本外科学会定期学術集会 2008 5月 長崎市	直腸腔瘻に対する transvaginal anterior levatorplasty 症例の検討	前田耕太郎	下部消化管外科
第75回日本消化器内視鏡学会総会 2008 5月 横浜市	大腸検査後に発症した高齢者潰瘍性大腸炎の1例	佐藤 美信	下部消化管外科
第33回日本外科系連合学会学術集会 2008 6月 浦安市	超低位直腸癌に対する機能温存手術の進歩と限界	前田耕太郎	下部消化管外科
第33回日本外科系連合学会学術集会 2008 6月 浦安市	結腸MP癌の臨床病理学的検討	佐藤 美信	下部消化管外科
第63回日本消化器外科学会総会 2008 7月 札幌市	下部直腸癌における側方リンパ郭清の治療効果	佐藤 美信	下部消化管外科
第63回日本消化器外科学会総会 2008 7月 札幌市	低位直腸癌手術における Denonvillier 筋膜と肛門括約筋の剥離に関する検討	前田耕太郎	下部消化管外科
第63回日本消化器外科学会総会 2008 7月 札幌市	直腸脱手術における直腸肛門機能の変化	野呂 智仁	下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第63回日本消化器外科学会総会 2008 7月 札幌市	大腸癌に対する腹腔鏡下手術の標準化に向けた手技と工夫	花井 恒一	下部消化管外科
第63回日本消化器外科学会総会 2008 7月 札幌市	下部直腸・肛門管癌に対する肛門括約筋温存術の適応と成績	小出 欣和	下部消化管外科
第17回日本がん転移学会学術集会総会 2008 7月 鹿児島市	大腸癌における血清 CA19-9、SLX および ELAM-1 測定値の意義	佐藤 美信	下部消化管外科
第21回日本内視鏡外科学会総会 2008 9月 横浜市	潰瘍性大腸炎の3期の分割手術症例に対して1期2期を腹腔鏡下手術で施行した症例の有用性と問題点	花井 恒一	下部消化管外科
第50回日本消化器病学会大会 2008 10月 東京	術前血清 CEA 値別にみた大腸癌術後再発に関する検討	佐藤 美信	下部消化管外科
第63回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10月 東京	直腸肛門内圧検査値の評価に関する検討	野呂 智仁	下部消化管外科
第63回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10月 東京	直腸進行癌に対する palliative intent としての MITAS による局所切除	前田耕太郎	下部消化管外科
第63回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10月 東京	当科におけるクローン病に対する腹腔鏡下手術の適応と限界	花井 恒一	下部消化管外科
第63回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10月 東京	予後の改善に有用な大腸癌術後フォローアップの検討	佐藤 美信	下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10 月 東京	下部直腸・肛門管癌に対する肛門括約筋温存術の適応、手術手技と成績	小出 欣和	下部消化管外科
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10 月 東京	潰瘍性大腸炎における Thymidine Phospholylase の発現に関する検討	安形 俊久	下部消化管外科
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10 月 東京	続発性会陰ヘルニアの 1 例	船橋 益夫	下部消化管外科
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10 月 東京	大腸癌 H3 肝転移症例に対する治療成績	松岡 宏	下部消化管外科
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10 月 東京	大腸癌肺切除症例の成績と予後因子	勝野 秀稔	下部消化管外科
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会 2008 10 月 東京	Rectocele に対する外科的治療の手技と症例の検討	本多 克行	下部消化管外科
第 46 回日本癌治療学会総会 2008 10 月 名古屋市	大腸癌における術前血清 CEA および CA19-9 値の臨床的意義の検討	佐藤 美信	下部消化管外科
第 46 回日本癌治療学会総会 2008 10 月 名古屋市	大腸癌術前化学療法施行例の予後規定因子についての検討	松岡 宏	下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第70回日本臨床外科学会総会 2008 11月 東京	ストーマ脱出に対する自動縫合器を用いた簡便な根治術	前田耕太郎	下部消化管外科
第70回日本臨床外科学会総会 2008 11月 東京	完全直腸脱に対する術式の選択とその工夫ー腹腔鏡下直腸固定術の手技を中心にー	花井 恒一	下部消化管外科
第70回日本臨床外科学会総会 2008 11月 東京	低位前方切除術時の安全な器械吻合法～IO-DSTの手技と成績～	佐藤 美信	下部消化管外科
第70回日本臨床外科学会総会 2008 11月 東京	下部直腸肛門管癌に対する肛門温存術の適応と成績	小出 欣和	下部消化管外科
第70回日本臨床外科学会総会 2008 11月 東京	汎発性腹膜炎にて発症した劇症型A群溶血性連鎖球菌感染症の1例	船橋 益夫	下部消化管外科
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 2009 2月 青森市	直腸癌術後の性機能障害についての検討	松岡 宏	下部消化管外科
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 2009 2月 青森市	傍ストーマヘルニア嵌頓の1例	塩田 規帆	下部消化管外科
第45回日本腹部救急医学会総会 2009 3月 東京	下血を契機に発見され、穿孔性腹膜炎を呈していた Weber-Christian 病の1例	野呂 智仁	下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
第45回日本腹部救急医学会総会 2009 3月 東京	診断に苦慮した小腸壊死の1例	本多 克行	下部消化管外科
The Third Annual meeting of the European Society of Coloproctology 9/2009	Measures eliminate the exfoliated cancer cells during intersphincteric resection for very low rectal cancer	Maeda K.	下部消化管外科
The Third Annual meeting of the European Society of Coloproctology 9/2009 Nantes	Transvaginal anterior levatorplasty for intractable recto-vaginal fistula	Maeda K	下部消化管外科
16 th International Postgraduate Course of the International Association of Surgeons. Gastroe	Exfoliated cancer cells during colorectal surgery	Maeda K.	下部消化管外科
血栓と循環 16(3):222-227,2008	2.血栓・塞栓症発生罹患臓器(頻度・危険因子・病態・診断) 6)肺塞栓症	安藤 太三	心臓血管外科
胸部外科 61(13):1102,2008	まい・てくにつく:慢性肺血栓塞栓症に対する血栓内膜摘除術	安藤 太三	心臓血管外科
CIRCULATION VISUAL BEST 心臓血管外科テクニク II大血管疾患編 109-118,2009	第1章大血管疾患の病態と治療戦略 8.肺動脈血栓塞栓症	安藤 太三	心臓血管外科
CIRCULATION VISUAL BEST 心臓血管外科テクニク II大血管疾患編 177-186,2009	第2章大血管疾患の手術 4.肺動脈血栓塞栓症の手術	安藤 太三	心臓血管外科
OPE NURSING 秋季増刊 実践心臓血管外科 手術マニュアル 138-147,2008	大動脈疾患に対する手術 ④胸腹部大動脈瘤	高木 靖	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
循環器疾患最新の 治療 373-375, 2008-2009	大動脈弁輪拡張症	高木 靖	心臓血管外科
心臓 40(10):832-836, 2008	急性肺血栓塞栓症に対する外科的治療	山下 満	心臓血管外科
OPE NURSING 秋季増刊 実践心臓血管外科 手術マニュアル 234-238,2008	第5章5 近赤外線・脳モニター	栃井 将人	心臓血管外科
Vascular Lab 増刊 5:106-114,2008	血管疾患の診断とモダリティー第4 章大動脈 1) CT	栃井 将人	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 56:22-24,2008	Total arch replacement for a distal arch aneurysm with aberrant right subclavian artery	Tochii M	心臓血管外科
Asian Cardiovascular and Thoracic Annals 16:185-186,2008	Bilateral common carotid artery aneurysm in Takayasu's arteritis	Tochii M	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 56(12):589-591,20 08	Left axillary arterial perfusion for cerebrospinal protection in proximal descending aortic aneurysm	Tochii M	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 15(1):23-30,2009	Is prompt surgical treatment of an abdominal aortic aneurysm justified for someone in their eighties ?	Tochii M	心臓血管外科
Surg Today 39:603-605,2009	Paraplegia following the emergency surgical repair of a non-ruptured symptomatic abdominal aortic aneurysm	Tochii M	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Thorac Cardiovasc Surg 14(5):274-282, 2008	Technique and Outcomes of Pulmonary Endarterectomy Surgery.	Kaneko K	心臓血管外科
OPE NURSING 秋季増刊 実践心臓血管外科 手術マニュアル 128-137,2008	大動脈疾患に対する手術③下行大動脈瘤	佐藤 雅人	心臓血管外科
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. 105(20):7287-7292,2008	Comprehensive screening for antigens overexpressed on carcinomas via isolation of human mAbs that may be therapeutic	Hattori Y	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌 22(5):829-832,2008	左肺上葉切除後に残存肺の軸捻転をきたした1例	長谷川 祥子	呼吸器外科
救急・集中治療 20(3-4):417-422, 2008	副腎不全（長期ステロイド投与中を含む）	日比 八束	内分泌外科
Journal of Steroid Biochemistry & Molecular Biology 113: 195-201,2009	Expression level of enzymes related to in situ estrogen synthesis and clinicopathological parameters in breast cancer patients.	Utsumi T	乳腺外科
Developmental Dynamics 237:3059-3070,2008	Retinoic acid down-regulates Tbx1 expression and induces abnormal differentiation of tongue muscles in fetal mice.	Sakai Y	形成外科
日本形成外科学会誌 28(11):680-683,2008	小耳症健側耳介における耳介長軸と鼻梁線の関係についての検討	宮田弥千代	形成外科
形成外科 52(2):191-198, 2009	Le Fort I型骨切り術	奥本 隆行	形成外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脊椎脊髄ジャーナル 21(4):426-432, 2008	腰部脊柱管狭窄症に対する顕微鏡視下減圧術	庄田 基	脳神経外科
脳神経外科速報 18(4):462-470, 2008	脳動脈瘤における流体力学と数値シミュレーション的アプローチ	早川 基治	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery 51(3):131-135,2008	Anterior communicating artery aneurysms: An overview	Kato Y	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery 51(4):199-203,2008	Assessment of Incomplete Clipping of Aneurysms Intraoperatively by a Near-Infrared Indocyanine Green-Video Angiography (Niicg-Va) Integrated Microscope	Imizu S	脳神経外科
脳神経外科速報 18(8):1024-1028, 2008	Xanthogranuloma of the sellar region の1例	森谷 茂太	脳神経外科
Clinical Neuroscience 別冊 26(12):1352-1354, 2008	手術および手術支援機器の開発と貢献	佐野 公俊	脳神経外科
第16回東海脳腫瘍病理検討会 32(1):105,2008	髄膜に発生した solitary fibrous tumor の1例	川瀬 司	脳神経外科
第17回東海脳腫瘍病理検討会 32(1):109-110, 2008	初発時に hemangiopericytoma, 再発時に高悪性度の肉腫と考えられた一例	川瀬 司	脳神経外科
執刀医のためのサージカルテクニック 脊椎アドバンス 154-165,2008	呼吸機能に問題がある側弯症(進行性筋ジストロフィー症)に対する矯正固定術	中井 定明	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本膝関節学会 32(2):203-208, 2008	高度外反変形膝に対する人工股関節置換術	早川 和恵	整形外科
中部リウマチ 39(1):34-35,2008	RAの高度外反変形膝に対するTKA	早川 和恵	整形外科
日本人工関節学会誌 38:410-411,2008	RAにおけるNextGen型セメントレスTKAの長期成績	早川 和恵	整形外科
別冊整形外科 53:60-66,2008	血清マーカーによる変形性関節症の病態評価, 進行予知	伊達 秀樹	整形外科
関節の外科 35(3):113-117, 2008	人工膝関節置換術後に脛骨のinsufficiency fractureを合併したRAの2症例	早川 和恵	整形外科
日本関節病学会誌 28(1):65-72,2009	Genesis II人工膝関節置換術の短期成績	早川 和恵	整形外科
THE BONE 22(3):133-136, 2008	骨・軟骨疾患の診断の現状と将来 ③軟骨代謝マーカー	森田 充浩	整形外科
中部労災誌 51(5):955-956,2008	変形性股関節症に対するShearer cupの長期成績	辻村 俊造	整形外科
Hip Joint'08 34:18-21,2008	Cement使用人工股関節の長期成績	中川 雅人	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hip Joint'08 34:385-388,2008	人工股関節弛みによる広範囲臼蓋骨欠損に対して同種骨を使用した臼蓋再建術の長期成績	深谷 英一	整形外科
日本人工関節学会誌 38:304-305,2008	関節リウマチに対する人工股関節置換術の治療成績と問題点	森田 充浩	整形外科
日本人工関節学会誌 38:468-469,2008	後側方進入 MIS-THR の術後成績	小崎 直人	整形外科
THE BONE 23(1):45-49,2009	OA の関節軟骨変性の評価 バイオメーカー	森田 充浩	整形外科
J Orthop Sci 14:228-241,2009	Cementless total hip replacement :past,present,and future	Yamada H	整形外科
東海スポーツ傷害 研究会会誌 26:13,2008	外傷性母指MP 関節拘縮に対する観血的関節授動術の治療成績	重盛 香苗	整形外科
Arthritis -運動器疾患と炎症- 6(2):92-99,2008	母指CM関節症の手術方法 DEBATE3 セラミック人工関節	鈴木 克侍	整形外科
Tohoku J.Exp.Med 216(2):149-156,2008	Differentiation of adipose - derived stromal vascular fraction culture cells into chondrocytes using the method of cell sorting with a mesenchymal stem cell marker	Ishimura D	整形外科
Tiss.Cult.Res.Commun 27:161-168,2008	ヒト多中心性骨肉腫細胞株 (HMOS) の樹立とケモカイン CXCR4/CXCL12axis の発現	山本 康洋	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology 2(3):167-172,2008	パッチテストで多種の外用剤に陽性であった皮膚潰瘍の1例	亀山 梨奈	皮膚科
皮膚の科学 7(4):460-465,2008	右下肢に生じた Mycobacterium chelonae 感染症の1例	松永 佳世子	皮膚科
Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology 2(3):147-153,2008	抗菌デスクマットによる接触皮膚炎	松永 佳世子	皮膚科
Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology 2(3):182-187,2008	Occupational Allergic Contact Dermatitis Resulting from Exposure to Plural Surfactants	Abe M	皮膚科
日本ラテックスアレルギー研究会誌 12(1):94-101,2008	2004年4月～2008年6月の間にラテックスアレルギーを疑い、皮膚テストを施行した28例のまとめ	山北 高志	皮膚科
Med Mycol 23:1-7,2008	Malassezia folliculitis is caused by cutaneous resident Malassezia species.	Matsunaga K	皮膚科
アレルギー 57(5):513-518,2008	アレルギー実践講座 皮膚テストの実際	松永 佳世子	皮膚科
Pharmacogenomics 9(11):1617-1622,2008	HLA-B locus in Japanese patients with anti-epileptics and allopurinol-related Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis.	Matsunaga K	皮膚科
Cell Transplantation 17:129-134,2008	Serum neutrophil gelatinase-associated lipocalin as a predictor of organ recovery from delayed graft function after kidney transplantation from donors after cardiac death	Kusaka M	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatric Nephrology 23-(7):1059-1071, 2008	Global gene expression profiling of renal scarring in a rat model of pyelonephritis	Ichino M	泌尿器科
The Journal of Immunology 182: 309-318,2009	Antibodies to MHC Class I Induce Autoimmunity: Role in the Pathogenesis of Chronic Rejection	Fukami N	泌尿器科
日本移植学会雑誌 43(4):276-281, 2008	特集「移植のQOL」 腎移植患者とQOL	早川 邦弘	泌尿器科
泌尿器科紀要 54(3):173-177, 2008	夜間頻尿を有する $\alpha 1$ アドレナリン受容体遮断薬投与中の前立腺肥大症患者に対する塩酸フラボキサートの有効性の検討	日下 守	泌尿器科
日本泌尿器科学会誌 99(5):660-665, 2008	維持透析中の進行性腎癌骨転移例に対しゾレドロン酸を投与した2症例の検討	有馬 聡	泌尿器科
メディカルレビュー社 Pharma Medica 26(2):23-27,2008	臍腎移植	杉谷 篤	泌尿器科
日本組織適合性学会誌 MHC 15(1):27-38,2008	献腎移植の現場でのHLA検査とクロスマッチ	杉谷 篤	泌尿器科
日本移植学会誌 移植 43(4):282-290,2008	臍移植患者とQOL	杉谷 篤	泌尿器科
日本腎臓学会誌 50(7):904-910, 2008	糖尿病と腎移植	杉谷 篤	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochimica et Biophysica Acta (BBA). 1780(7-8):960-965, 2008	2,4-Diamino-6-hydroxypyrimidine (DAHP) suppresses cytokine-induced VCAM-1 expression on the cell surface of human umbilical vein endothelial	Udagawa Y	産・婦人科
Molecular Human Reproduction. 14(10):595-602, 2008	Increased levels of pregnancy-associated plasma protein-A2 in the serum of pre-eclamptic patients.	Nishizawa H	産・婦人科
Cancer Sci. 99(9):1715-1719, 2008	Molecular epidemiological and mutational analysis of DNA mismatch repair (MMR) genes in endometrial cancer patients with HNPCC-associated familial predisposition to cancer.	Udagawa Y	産・婦人科
The American Journal of Human Genetics. 84(1):14-20,2009	Mutations of the SYCP3 Gene in Women with Recurrent Pregnancy Loss.	Nishizawa H	産・婦人科
Journal of MEDICAL ULTRASONICS 36(1):19-26,2009	Clinical features and characteristics of blood flow of uterine vascular abnormalities.	Sekiya T	産・婦人科
Anticancer Research. 29(2):561-566, 2009	Favourable Prognosis with Modified Dosing of Docetaxel and Cisplatin in Japanese Patients with Ovarian Cancer.	Udagawa Y	産・婦人科
癌の臨床 54(6):435-440, 2008	アンケートによる「卵巣がん治療ガイドライン2004年版」の検証	宇田川康博	産・婦人科
産婦人科の実際 57(13): 2113-2121, 2008	家族性子宮内膜癌 - 調査研究 -	長谷川清志	産・婦人科
臨床眼科 63(2):211-215, 2009	手術用顕微鏡 OMS800-OFFISS と 120D 観察レンズを用いた広角観察システムの使用経験	谷川 篤宏	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese journal of Ophthalmology 2009 53:31-34,2009	Electroretinograms in Three Cases of Creutzfeldt-Jakob Disease with Visual Disturbances	Ishikawa A	眼科
日本耳鼻咽喉科学会会報 111:523-532,2008	マルチスライスCTによるヒト耳管計測値の年齢変化について	吉岡 哲志	耳鼻咽喉科
小児耳鼻咽喉科学会誌 29(1):44-49,2008	口蓋扁桃摘出術を併用した咽頭弁形成手術症例	堀部 晴司	耳鼻咽喉科
Ann Nucl Med 2:417-424, 2008	In-vivo imaging of microglial activation using a peripheral benzodiazepine receptor ligand: [11C]PK-11195 and animal PET following ethanol injury in rat striatum	Toyama H	放射線科
Radiology 250(1):202-211, 2009	Whole-Brain Perfusion CT Performed with a Prototype 256-Detector Row CT System: Initial Experience	Murayama K	放射線科
Ann Nucl Med 23:209-215, 2009	Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007	Toyama H	放射線科
Radioisotopes 57:491-558, 2008	第6回全国核医学診療実態調査報告書	外山 宏	放射線科
Acad Radiol 15:1069-1074,2008	Development of Variable Pitch Factor Scanning for Multislice Computed Tomography	Katada K	放射線科
臨床放射線 53(4): 573-581,2008	頭部領域における256列面検出器CTの初期経験 ダイナミックボリュームデータの応用	村山 和宏	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本放射線技術学会雑誌 64(4):442-449,2008	Coronary CT Angiography における最適心位相検出の自動化ー心房細動患者に対する臨床的有用性ー	片田 和広	放射線科
IARS 106(3S):S-124,2008	Propofol Must Be Expelled from Anesthesia with Monitoring of Motor-Evoked Potentials (MEPs) in Patients Who Have Symptoms in Upper and Lower Extremities and Midazolam Can Substitute for Propofol	Uchida M	麻酔科
日本集中治療医学会誌 15:103-106,2008	ICUにおけるヒヤリ・ハット事例に関するアンケート調査	西田 修	麻酔科 2
日本集中治療医学会誌 15:219-222,2008	大動脈閉塞バルーンカテーテルにより救命しえた腹部刺創の一例	西田 修	麻酔科 2
ICU と CCU 32 別冊号: 62-66,2008	High-Performance HDF(high flow-volume large size PMMA-HDF)の特徴と適応ーHPーHDFのウィーニングを考えるー	西田 修	麻酔科 2
医工学治療 20(3): 186-191,2008	高効率血液浄化療法 High Performance HDF の紹介と効果・効率	西田 修	麻酔科 2
日本障害者歯科学会雑誌 29(4):641-644,2008	多数歯の抜歯により症状の改善が認められた咬筋ジストニアの1例	水谷 英樹	歯科口腔外科
病理と臨床 26(臨時増刊号): 111-116,2008	外科病理症例対象の臨床とのカンファレンスの意義	浦野 誠	病理部
病理と臨床 26(7):719-721, 2008	病理外来の行方	黒田 誠	病理部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医学のあゆみ 226(11):1004-1007 , 2008	医療関連死問題をかんがえる 医療関連死に対する日本病理学会の とりくみ	黒田 誠	病理部
診断病理 26(1):38-41, 2009	高齢女性の腎 Mixed epithelial and stromal tumor(MEST)の1例	桐山 諭和	病理部
病理と臨床 27(1):82-83, 2009	病理解剖の医療における座標軸の再 認識	黒田 誠	病理部
日本臨床検査自動 化学会会誌 33(3):264-268,200 8	Dimension 用血中タクロリムス濃度 測定試薬「フレックスカートリッジ タクロリムス TACR」の基礎的検討 およびヘマトクリット補正 MEIA 法 との比較	石井 潤一	臨床検査部
医療と検査機器・試 薬 32(1):55-59, 2009	マイクロチップを利用した簡易 CRP 迅速定量試薬「バナリストエー ス CRP」の基礎的検討	石井 潤一	臨床検査部

計 2 2 4 件

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 星長 清隆
管理担当者氏名	事務局長・総務部長 伊藤 稔 安全管理室長 山田 治基 人事部長 山田 一俊 感染対策室長 吉田 俊治 医療事務部長代理 原田 勝己 薬剤部長代理 矢野 裕章 (入院医事課長) 外来医事課長 柘植 宏憲

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課 外来医事課 入院医事課 各診療科 FILM中央管理室 診療録管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・外来カルテ・入院カルテ共に電子カルテとしています。 ・保存期間は、外来カルテは 10 年、入院カルテは 30 年としています。 ・X線写真は、中央管理しています。なお一部は各診療科毎に保管しています。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
	高度の医療の提供の実績	外来医事課 入院医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	外来医事課 入院医事課
	入院患者、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	外来医事課 入院医事課 薬剤部
規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理室
	専任の医療に係る院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理室
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理室
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務局長 伊藤 稔
閲覧担当者氏名	薬剤部長代理 矢野 裕章 総務部長 伊藤 稔 人事部長 山田 一俊 医療事務部長代理 原田 勝己 (入院医事課長) 外来医事課長 柘植 宏憲
閲覧の求めに応じる場所	事務局 応接室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	62.3%	算定期間	平成 20年 4月 1日～平成 21年 3月 31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		20,465人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,353人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		4,797人
	D: 初診の患者の数		49,190人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (2) 名 平成15年4月1日設置 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ●医療に係る安全管理のための委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療に係る安全管理のための委員会の庶務に関すること ●事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行なうこと ●患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認するとともに、必要な指導・支援を行うこと ●事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な時は協力すること ●医療安全に係る連絡調整に関すること ●医療安全対策の推進に関すること ●安全管理報告の集計、分析に関すること ●医療安全に係る資料の収集に関すること ●院内死亡についての情報把握に関すること ●セーフティマネージャーの活動の総括に関すること ●重大事故発生時の初動対応として、患者、家族への事故の説明や対応に関すること 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 平成19年12月21日全文改正 <ul style="list-style-type: none"> ●医療安全に関する基本的考え方 ●医療安全管理に関わる組織及び体制 ●医療問題対策委員会、医療事故調査委員会および事故防止対策委員会の設置 ●安全管理室・安全管理専任者の設置 ●医療安全推進者（セーフティマネージャー）の設置 ●医薬品安全管理責任者の設置 ●医療機器安全管理責任者の設置 ●医療安全管理のための教育研修 ●報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策 ●医療事故発生時の対応における基本的な考え方 ●患者への情報提供 ●患者相談窓口の設置 ●本指針の周知ならびに見直し、改正 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ●医療問題対策委員会（年12回） <ul style="list-style-type: none"> ◆医療事故及び医事紛争の予防対策の検討及び推進 ◆医療事故及び医事紛争への対応方法 ◆医療事故及び医事紛争の情報交換 ◆医療事故及び医事紛争の予防のための教育・研修 ◆安全管理室及び事故防止対策委員会からの提出議題 ◆患者相談窓口からの苦情、相談等に関する事項 ◆医療事故調査委員会、事例検討会における検討事項に関する対応 ◆その他、医療事故及び医事紛争に関する事項 ●事故防止対策委員会（年12回） <ul style="list-style-type: none"> ◆事故報告書の収集及び分析 ◆過去の事故発生状況の把握と調査分析 	

<ul style="list-style-type: none"> ◆発生後の患者の経過の把握 ◆事故防止に必要な安全対策の検討 ◆事故防止のための各指針の再検討・改善 ◆事故防止対策の現場への浸透・推進 ◆その他事故防止に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ●医療事故調査委員会（平成20年度0回） <ul style="list-style-type: none"> ◆重大な医療事故に関し、原因等を調査・検討する 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <p style="margin-left: 20px;">全職員対象研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平成20年6月13日 京都大学医学部附属病院 医療安全管理室長 長尾 能雅 ● 平成20年8月4、6、26、28、29、30（6日間） 病院長 菱田 仁士 ● 平成20年11月12日 中京大学法科大学院 教授 稲葉 一人 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ● 事故報告に対する検討指示書により発生部署からの改善を求める。 ● 事故防止対策委員会で改善の検討をする。 ● 事例検討会の開催して改善を検討する。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染に対する基本的な考え方 ●院内感染防止対策の組織に関する基本事項 ●院内感染防止対策のための研修に関する基本方針 ●感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ●院内感染発生時の対応に関する基本方針 ●院内感染防止対策指針の閲覧に関する基本方針 ●その他の院内感染対策推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p><感染防止対策委員会>月1回(年12回) 感染対策実務小委員会からの活動報告及び感染対策に関わる提案事項の検討</p> <p><感染防止対策実務小委員会(Infection Control Team:ICT)>月2回(年23回) MRSA発生状況の報告と改善案の検討、結核発生報告とそれに対する事後措置案の検討</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年9月4日(それ以外にビデオ講演7回) 「感染制御における横断的診療の在り方 ～予防から治療までを考える～」 講師：愛知医科大学病院 感染制御部 教授 三嶋廣繁 ・平成21年2月13日(それ以外にビデオ講演7回) 「いまさら聞けない感染対策の常識」 講師：国立病院機構名古屋医療センター 感染管理認定看護師 藤田烈 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ●臨床微生物検査室より以下の報告をICT委員会が受ける体制を整えている <ul style="list-style-type: none"> ・MRSAの各病棟における週間、月間分離状況→診療連絡会にて各部門が情報共有する ・VRE、MDRP、O-157をはじめとする感染症法第1～5類に属する病原体が検出された時は、直ちに当該病棟及びICT委員会に報告をする。院内感染対策専任者は、適切な感染対策指導を行うと共に、感染症法に基づき届出が速やかに行われるように指導する ・週1回多剤耐性菌及びクロストリジウム・デフィシルの検出された部署の一覧表をICT委員会に提出し、報告をする ・同一病棟、同一診療科あるいは病院全体で、同一菌種が多発性に検出され、同一病原体による感染症のアウトブレイクが疑われた場合には、直ちにICT委員会へ報告する ●NICU、CCUにてBSIサーベイランス、胆膵外科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、下部消化管外科にてSSIサーベイランス、NCUにてVAPサーベイランスを行い、感染症の発生状況を把握している ●厚生労働省「院内感染対策サーベイランス」全入院患者部門、手術部位感染部門、集中治療部門に参加し、感染症発生状況を把握している ●年2回当院における臨床分離菌株薬剤感受性率をマニュアルに挿入している 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「最近の麻薬事故から見えてきた問題点とその対策」(院内事例検討会) ・ 院内麻薬取扱い手引の説明会 (2回) 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> チェックリストを用い、薬剤部内・各病棟を調査 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① コンピュータシステムによる改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方入力時の薬品検索を3文字検索とした。 ・ 内服抗がん剤の最大投与量を設定 ・ 妊産婦に対する禁忌薬入力時の警告表示 ・ 処方せんへのアレルギー情報表示 ② 注射薬ピッキングマシン導入による内服薬との併用チェック ③ 毒薬であるエスラックス注の運搬用箱の設定と受け取り確認印の徹底 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○ ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 38 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ◆臨床工学技士が院内医療スタッフに対し実施する勉強会 ◆延べ38回実施（1名～70名/1回），参加人数延べ671名（医師36名、看護師568名、その他67名） ◆主な内容：人工呼吸器11回、除細動装置関連9回、輸液装置関連6回、その他ME機器12回 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 （ ○ ・ 無 ） ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ◆2008年度実績（臨床工学技士が実施した点検作業） …… 総計20,511 人工呼吸器（使用後点検、定期点検、修理後点検、オーバーホール） …… 延べ7,285件 輸液・シリンジポンプ（使用後点検、定期点検、修理後点検） …… 延べ10,774件 除細動装置（定期点検、修理後点検） …… 延べ279件 低圧持続吸引器（使用後毎点検、定期点検、修理後点検） …… 延べ1,443件 経腸栄養ポンプ（定期点検、修理後点検） …… 延べ41件 IVHポータブルエコー装置（使用後毎点検） …… 延べ280件 生体情報モニター（定期点検、修理後点検） …… 延べ280件 その他の医療機器・生命維持管理装置（定期点検） …… 延べ47件 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ ○ ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>医療機器メーカーからの直接的な情報提供に加え、可能な限り医療機器に関する情報を収集し、院内イントラネット（お知らせページ：ME管理室HP）に掲載し医療従事者に対し情報発信を行っている。また、取扱説明書、ME機器添付文書等は同ME管理室HPに掲載し、いつでも誰でも閲覧できるようにしている。</p> 	